

2026年8月5日
株式会社エフピコ

エフピコ・ベルクス 「エコストア協働宣言」を発表

株式会社エフピコ(本社:東京都新宿区、代表取締役会長:佐藤 守正、以下「エフピコ」)は、東京都・千葉県・埼玉県で専門性追求型スーパーマーケット「ベルクス」を展開する株式会社サンベルクス(本社:東京都足立区、代表取締役社長:鈴木 秀夫、以下「ベルクス」)と協働し、持続可能な循環型社会の推進を目的とした「エコストア協働宣言」を発表いたします。本宣言は、ベルクスの全54店舗において、お店を発着点とする水平リサイクル(※1)「ストアtoストア」の取り組みを強化し、さらなる環境負荷低減を図るものです。



■宣言前後で継続する取り組み

ベルクスは、環境負荷低減に向けた取り組みとして、店頭の回収ボックスにて使用済み食品トレーおよびペットボトルの回収を実施しています。2026年2月期の食品トレー回収量は46t、ペットボトル回収量は75tに達しております。

またベルクスでは、回収資源から再生されたエフピコのエコ製品(※2)を売り場で使用しています。2026年2月期は、565tのCO2排出削減に貢献しました。

■宣言により新たに変更・強化する取り組み

本宣言を機に、新たに以下2点の取り組みを実施いたします。

1. トレー回収を「エフピコ」一貫化し、水平リサイクルへ

2026年6月1日より、ベルクス各店舗における使用済み食品トレーの回収及びリサイクルを、エフピコ一貫化いたしました。回収されたトレーはエフピコでエコ製品へと生まれ変わり、再びベルクスの店頭で使用されることで、お店をリサイクルの発着点とする「ストアtoストア」の水平リサイクルが実現します。

2. 汎用トレーをエコ製品へ切り替え、CO2排出削減を拡大

2026年7月1日より、ベルクスの売り場で使用している汎用トレーを、回収資源から作られた「エコトレー」へと切り替えました。エコ製品の使用範囲を大幅に拡大し、CO2排出削減量のさらなる増大を実現します。

エフピコおよびベルクスは、本取り組みを通じて地域の皆さまと共に地球資源の循環を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(※1) 水平リサイクル:リサイクルの前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法

(※2) 回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコAPET」、「エコOPET」

【ご参考】

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環、及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6037 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー37階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設立:1962年7月

H P:<https://www.fpc.jp/>

【リサイクル特設ページ】 [エフピコ みんなでリサイクル](#)

<株式会社サンベルクス>

所在地:〒121-0061 東京都足立区花畑5-14-1

代表者:代表取締役社長 鈴木 秀夫

設立:1983年3月(創業:1968年)

H P:<https://sunbelx.com/>

以 上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767